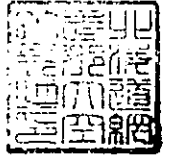


平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

大空町長 山下 英



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号に係る標記の件について別紙のとおり提出しますので、よろしくお取り計らい願います。

- 大空町の位置する道東・オホーツク地域は、北海道を代表するような広大な土地と湖、山そして海という自然が豊かな地域であります。広大な土地の中で点在する市町村を結び生活や経済活動を支える基礎的基盤である広域交通ネットワークの早期形成は緊急的課題であります。
- 私たちは、オホーツク地域の豊かな自然のなかで、豊富な海産物と安全・安心な農産物を生産し、日本の食糧基地としての役割を果たしてきました。しかし、世界自然遺産に登録された「知床」や「東オホーツクシーニックバイウエイルート」など観光資源の活用や整備が急務であり、また、釧路・十勝・旭川などの北海道を代表する主要都市に2～3時間で経由できるなど道東観光の拠点として、更なる整備が求められています。
- 道路特定財源制度により、北海道の広大な土地のなかで点在する市町村を結び観光や産業物流通、福祉・医療機関への移送等、私たちが安心して豊かな生活が営める社会が構築されてきました。しかし、整備が行き届いているかと言うと決して十分といえる状況にはありません。

特に、冬季間の厳しい気象条件下では、わだちや凍結路面、地吹雪などによる視界不良や道路の幅員減少など夏季とは全く異なる危険が存在します。年間を通して安全・安心であり、観光や産業・生活などに多岐にわたって寄与できる生活道路から高規格幹線道路など維持管理を含めた道路網整備および予算の確保が求められています。
- 一般財源化に伴い道路の整備の指標として、交通量を中心として決定されることになれば北海道での生活を守っていくことは出来なくなります。

四季を通して安全が確保される道路線形や勾配の改良、地域住民をはじめ観光客なども解かり易い道路標識等への改善、既存道路の改修など早期の整備が必要です。
- 近年、各自治体の財政が厳しい状況になっています。国も道も同様とは思いますが、必要な財源を確保され、地域の実情を精査され、さまざまな気象条件に適用でき、安全安心が確保される道路環境の整備を推進願います。
- 現在の交付金制度は、道路構造等画一的であり、地域の実情にあった整備ができない実態であり、もっと柔軟な制度となることを要望します。

—1 地域の現状と抱える課題

○現状

- 大空町は、国道2路線、道々9路線、町道491路線あり、また、オホーツク圏の空の玄関である女満別空港があるなど、観光・産業物流通の交通の要衝となっています。
- 町村合併をしたが、両地域を結ぶ路線が急勾配・急カーブが多い隘路であり、特に冬期間の交通は厳しい状況となっています。
- 網走管内は山に囲まれた地域であり、急勾配・急カーブが多くあります。
- 冬季の厳しい気象条件のもと、地吹雪などによる視程障害や平坦地でも凍結・融雪の繰り返しによる滑りやすい路面になるなど道路環境は厳しいものがあります。
- 播種時期や収穫時期は、農作業車両や大型運搬車両の交通量が格段と増加し、渋滞することがあります。
- 近年の医師不足等により、遠く離れた高度医療機関や福祉機関などへの移送が増加しており、安全安心な交通の確保が必要となっています。
- 国道や道々も含め、凸凹状態や歩道の未整備、凍上や上下水道整備に伴うつぎはぎなど、道路環境の改善の整備がまだまだ必要であります。

○課題

- 安定した観光・産業物流通を確保するため、広域交通ネットワークの早期形成が必要です。
- 観光・産業物流通や福祉医療なども含め整備・維持補修に対する予算の確保が必要です。
- 女満別地域と東藻琴地域の住民の相互交流を促進するため、両地域間を結ぶ安全なアクセス道路の整備が必要です。
- 観光客も含め見やすい・わかりやすい標識の整備が求められています。観光施設や関係者の連携や主たる利用者からの意見徴収などニーズに対応できる体制づくりや整備が必要です。
- 北海道独特の冬季間を含め、道路の線形や勾配、追い越し・譲り車線の設置など安心して走行できる道路環境整備や除雪体制が必要です。国・道・市町村が連携し、効率よく整備等する体制の確立が必要です。

—2 地域の目指すべき将来像

- 主要な町道はほぼ整備が終了している状況ですが、女満別地域と東藻琴地域の住民の相互交流を促進するため、両地域間を結ぶアクセス道路の整備が求められています。
冬季間の道路機能維持のため、国や道と連携し、広域的な除雪体制により通勤・通学などのバス路線や歩道などを重点に交通の確保に努めていますが、今後は体制の見直しが必要となってきました。
- オホーツク圏の空の玄関口である女満別空港と世界自然遺産である知床と結ぶ国道や釧路・十勝・旭川など道東を中心とした主要都市とを結ぶ国道・道々は交通量の増加が予想されることから、安全で安心して通行できるよう道路の改良整備が必要です。
- 具体的な整備としては
 - 地域間アクセス道路の整備 : 女満別地域と東藻琴地域の住民の相互交流を促進するための道路整備
 - 空港関連アクセスの体系の確立 : 空港につながる北海道横断自動車道網走線と国道334号線の整備促進を要望
 - 交通形態に対応した国道・道々の整備促進 : 国道・道々の整備促進に向けた関係団体と連携した要請
 - 計画的な町道・歩道の整備 : 未改良部分の整備や歩道の設置、除雪体制の強化など

今後の道路行政についての意見・提案

様式

北海道 大空町

道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
● 地域経済・町民生活の活性化 ● 総合的な交通安全対策	● 近隣都市との連絡網の整備 ● 生活及び産業物流通道路の整備 ● 除雪体制の整備 ● 国道334号線の整備 ● 北海道横断道自動車網走線の整備 ● 美幌バイパスの整備 ● 道々及び町道の整備の推進 ● シーニックバイウェイ関連道路の整備 ● 都市間バス路線の整備 ● 歩道・バリアフリー化整備 ● 空港・港などへのアクセス道路の整備 ● 農道や各種施設間の道路整備 ● 福祉・医療機関への移送等の交通網整備 ● 安全・案内標識の改善(見易さ・解り易さ など) ● 急勾配・急カーブの改善整備 ● 常設体制の確立 ● 四季を通しての安全確保	● 住民生活の安全の確保 ● 消費活動の活発化 ● 安全安心できる道路環境の確保 ● 都市との交流 ● 地域ブランドの形成 ● 地域間の連携強化 ● 都市間交流の推進 ● 交通弱者の救済 ● 農産物・海産物の安全確保 (鮮度・荷いたみの減少など) ● 産業経済物の流通路確保 ● 販路の拡大 ● ● 冬季間の安全確保 ● 交通の安全確保 ● 交通の高速化 ● 高度医療施設への連携強化 ● 福祉施設の連携強化 ● 緊急医療体制の確立 ● 凍結路線の改善 ● 暴風・暴雪対策の推進	